

取扱説明書

EX-LD2702Dシリーズ

この度は弊社製液晶ディスプレイをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

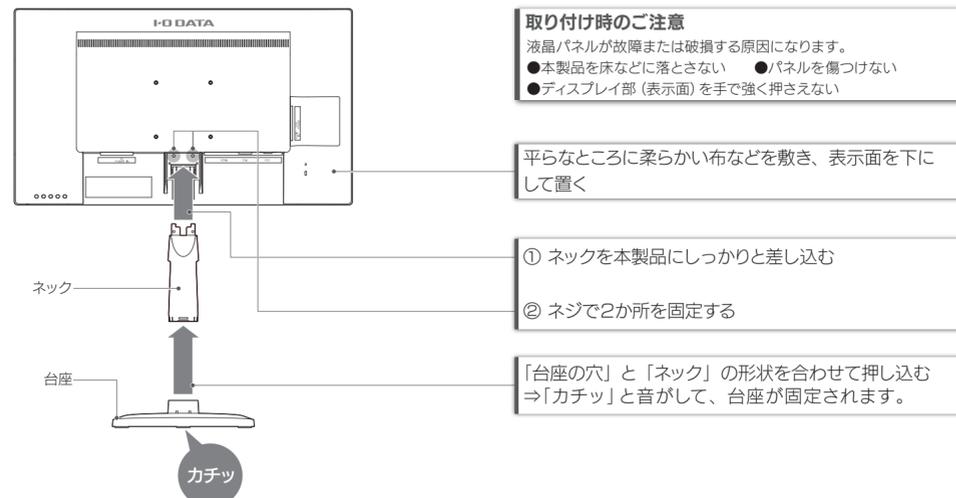


表面	裏面
<ul style="list-style-type: none"> 添付品を確認する 台座を取り付ける つなぐ 使う 安全のために 規格 使用上の注意 液晶ディスプレイの回収・リサイクル 	<ul style="list-style-type: none"> 困ったときには アフターサービス ハードウェア保証規定

添付品を確認する

- 台座
- アナログRGBケーブル
- オーディオケーブル
- ネック
- ネジ(2本)
- 電源ケーブル
- 取扱説明書(本書)

台座を取り付ける



取り付け時のご注意
液晶パネルが故障または破損する原因になります。
●本製品を床などに落とさない ●パネルを傷つけない
●ディスプレイ部(表示面)を手で強く押さない

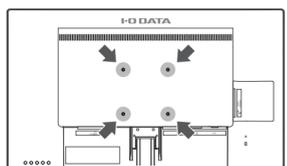
平らなところに柔らかい布などを敷き、表示面を下にして置く

- ① ネックを本製品にしっかりと差し込む
- ② ネジで2カ所を固定する

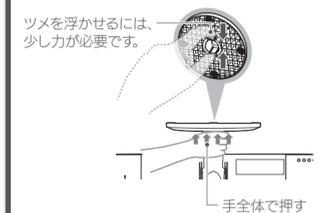
「台座の穴」と「ネック」の形状を合わせて押し込む
⇒「カチッ」と音がして、台座が固定されます。

VESAアームに取り付ける方法

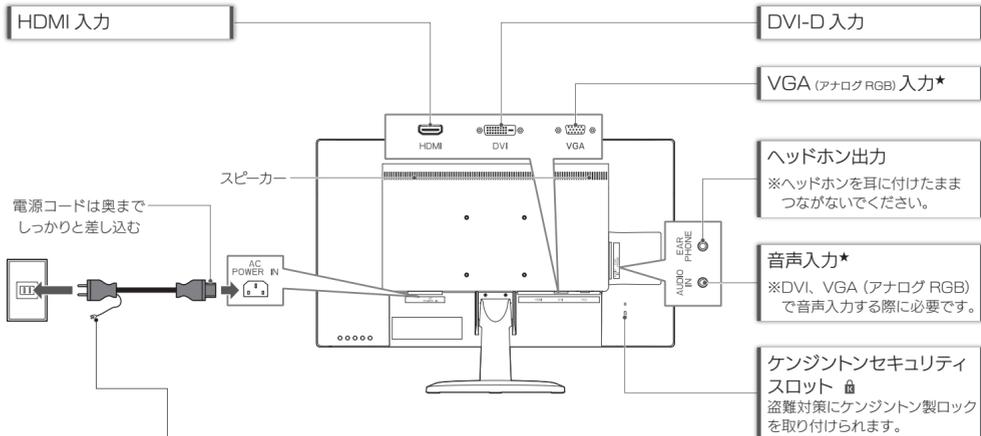
- 固定用ネジ:M4×10mm
- 本製品質量:約4.8kg(ネック・台座除く)
- ネジピッチ:100mm
- 締付トルク:80~100N・cm(8~10kgf・cm)



台座を取り外す方法



つなぐ



ご注意:アースについては以下を守る
●アースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ
●電源プラグを抜いてから、アースを外す
守らないと、発火・感電の原因になります。

パソコンとHDMIでつないだ場合
パソコンによっては、音声の出力先を設定する必要があります。
Windows の例
① 通知領域のスピーカーアイコンを右クリック
② [再生デバイス] をクリック
③ 本製品を選び、[規定値に設定] をクリック
Mac OS の例
① システム環境設定の[サウンド] をクリック
② [出力] タブをクリック
③ 本製品を選ぶ

安全のために

- お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際は、必ず記載事項をお守りください。
- 警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
 - 注意** この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

警告

- 本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。
- 電気が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電の原因になります。
- 本製品をぬらしたり、水気の多い場所を使わない
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺で使う際は、特に注意する
- 水の入ったもの(コップ花びんなど)を上に乗せない
- 万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使わない
- 添付の電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。添付の電源コードは、本製品専用です。
- 本製品の取り付け取り外し、移動の際は、必ず先にパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜く
- 電源コードを抜く
- 電源コードを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。
- 液晶パネルから漏れた液体(液晶)には触れない
誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体(液晶)が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液体が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、お湯で洗い流してください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。
- 煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまますぐに発火・感電の原因になります。
- 電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。
- ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでゆるみがある場合にはつながないでください。発熱して発火の原因になります。
- じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。
- テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する。たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量(1500W)などの記載を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。
- 故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。
- コンセントまわりは定期的に掃除する
長期電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜き、乾いた布で電源プラグをふいてください。
- AC100V(50/60Hz)以外のコンセントにつながない
発熱、発火の原因になります。

使う



電源を入れる/切る

電源ボタンを押します。

電源ランプについて

青点灯	電源入
オレンジ点灯	節電状態
消灯	電源切
	節電状態*

* 設定メニューの「自動電源オフ」が[自動復帰]の場合。

音量と輝度を調節する【ショートカットメニュー】

◀を押すと、調節項目が表示されます。
▶を押すと、値を調節する
INPUT 項目を移動する
MENU メニューを閉じる

※調節項目:ボリューム、輝度
※設定メニュー、情報ウインドウ非表示時のみ

ブルーリダクションなどを調節する【ショートカットメニュー】

▶を押すと、調節項目が表示されます。
◀を押すと、値を調節する
INPUT 項目を移動する
MENU メニューを閉じる

※調節項目:ブルーリダクション、超解像度、VDTモード
※設定メニュー、情報ウインドウ非表示時のみ

ブルーリダクション

パソコンで作業をする際に目が疲れる原因とされるブルーライトを低減させる機能です。効果を強くするほど、画面は黄色く見えます。

超解像度

映像の解像感を高め、映像の輪郭をくっきりと表示する機能です。解像度の低い映像を見るときに、ボケを低減します。
※デモモード:画面左に通常、右に超解像処理の映像を表示する機能

VDTモード

長時間のパソコン作業に配慮した機能です。
・起動時に姿勢や休憩についての配慮事項を表示します
・一定時間ごとに休憩を促すメッセージを表示します
・目に優しい表示設定を用意しています

使用上の注意

■画面の焼き付きを防ぐために
同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。
●パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切ってください。
●なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能をご使用ください。

■お手入れのために
●表示面が汚れた場合は、脱脂綿が柔らかいきれいな布で軽く拭き取ってください。
●表示面以外の汚れは、柔らかい布にまたは中性洗剤を含ませて軽く絞ってから、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤は避けてください。
●ディスプレイ部の表面は傷つきやすいので、工具や鉛筆、ボールペンなどの固いもので押しついたり、叩いたり、こすったりしないでください。
●表示面上に液点(点灯しない点)や塵点(点灯したままの点)がある場合があります。これは、液晶パネル自体が99.999%以上の有効画素と0.001%の画素欠けや塵点をもつことによるもので、あらかじめご了承ください。
●見る角度や温度変化によっても色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは、故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

■バックライトについて
本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラチラしたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。
※ご自分の交換は絶対に行わないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。
●液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。

■有寿命部品について
●本製品には、有寿命部品(バックライト、アルミ電解コンデンサなど)が含まれています。
●有寿命部品の寿命は、使用頻度や使用環境(温湿度など)等の条件により異なります。
●本製品は、一般家庭やオフィスでの使用を想定して設計されていますので、それ以外の環境でご使用される場合は、寿命が短くなる場合があります。

- 注意**
- 眼精疲労を防ぐため、以下を守る
ディスプレイを見る作業を続けるときは、ディスプレイ画面の明るさ、音質およびキーボード面における明るさと周辺の明るさの差をなるべく小さくしてください。また、連続作業をするときは、1時間から10分から15分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けること、眼に疲労が蓄積されます。
 - ディスプレイの角度などを調節時に、指をはさまないように気をつける
 - 電源を入れた状態で、おおは、機たおし、逆さまにして使わない
内部に熱がこもり、発火の原因になります。
 - 人が通行するような場所に設置しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

規格

■VCCI規格について
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

■J-Mossについて
この装置は、「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法(JIS C 0950)」、「電気・電子機器の特定の化学物質に関するグリーンマーク・ガイドライン」に基づきグリーンマークを表示しております。化学物質の含有情報は以下をご覧ください。
<http://www.iodata.jp/jmoss/>

設定メニューなどの情報は『画面で見るマニュアル』をご覧ください
<http://www.iodata.jp/p/157372>
※別モデルのページでも、掲載内容は共通です。

表示する映像を切り換える

INPUTを押します。
▶ 入力を選ぶ
INPUT 入力を決定する

設定メニューを開く

MENUを押します。
▶ 項目を移動する
値を調節する
INPUT 項目・値を決定する
項目を移動する*
◀を3秒間押し続けます。
MENU 前の項目に戻る
MENU 前の項目に戻る
※[アドバンス]を操作時

液晶ディスプレイの回収・リサイクル

弊社では製品のリサイクルの容易さや電力消費の抑制など環境負荷を軽減する製品開発を進めています。液晶ディスプレイ製品の回収・リサイクルにご協力をお願いします。

法人のお客様は

弊社では、法人のお客様がご不要になった弊社製液晶ディスプレイの回収・リサイクルのご案内や料金のお見積りをおこなっております。詳細は、下記弊社 Web ページをご覧ください。

■お申し込み窓口
http://www.iodata.jp/recycle_h/

ご家庭でお使いのお客様は

弊社では「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家庭で排出される弊社製液晶ディスプレイのリサイクルを実施しています。回収された液晶ディスプレイは、新たな資源として生まれ変わります。この取り組みを通じて、弊社はユーザーの皆様とともに地球環境保全の活動を進めてまいります。弊社が無料で回収・再資源化いたします。お申し込みについては、下記弊社 Web ページをご覧ください。

■お申し込み窓口
http://www.iodata.jp/recycle_k/

